

優先順位	1
------	---

発達障がいのある子どもの支援体制整備について

こども家庭部子育て支援課・次世代育成課・保育課

1 目的

発達障がいのある子どもの乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対する一貫した支援体制の整備を図る。

2 事業の概要

発達障がいのある子どもの支援は、母子保健事業における早期発見、発達支援広場において今後の対応の見極めのために早期療育的プログラムを実施し、専門的療育が必要と判断された子どもに対しては、療育施設通所の提供、継続して見守りが必要な子どもは、子育て支援ひろばの親子支援の場の提供や保育園・幼稚園における対応により支援する。

3 事業内容

(1) ワンストップサービス体制の構築

- 発達障がいのある子どもの乳幼児期から就学、成人期に至るまでの相談支援体制の整備をすすめるため、平成 23 年度に子育て支援課に指導主事を配置し、順次、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士を配置する。
- 市民に身近な場所に、ワンストップで対応できる相談窓口を設置する。

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
職員	指導主事 1 名	保育士 1 名 幼稚園教諭 1 名	社会福祉士 1 名	
相談窓口			4 か所	7 か所

(2) 発達障がいのある子どもとその親を継続して見守る場を確保する。

- 現状として、支援の場が少ない就園前の子どもとその親に対して、平成 23 年度再編する子育て支援拠点の「子育て支援ひろば」を受入れの場とする。
- 保育園、幼稚園の受入促進整備のための人材育成を行う。

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
発達障がいの疑いのある子どもの受入の場	6 か所	7 か所	8 か所	9 か所
【参考】 子育て支援ひろば	16 か所	17 か所	18 か所	19 か所

4 所管課見積額

平成 23～26 年度

発達障がいの疑いのある子どもの受入加算額 28 百万円
 子育て支援広場事業費 393 百万円

【協議要旨】

- ◆ ワンストップサービス体制の構築については、実施業務の整理を行うとともに、関係部局と協議を行い、早期に体制が整うよう、スピード感を持って進める。

優先順位	2
------	---

認証保育所利用者助成事業について

こども家庭部保育課

1 事業の目的

本市の待機児童解消対策の一つである認証保育所の有効活用については、区役所等での施設情報の提供や市ホームページによる周知等により利用促進に努めてきたが、平成 22 年 4 月現在の認証保育所の入所児童数は定員(1,183 人)の 55%程度にとどまっている。

この主な理由として、認可保育所との施設環境の違いや、保育料の負担感が大きいこと等が挙げられる。

こうしたことから、認証保育所利用者の経済的負担の軽減を図ることにより、利用促進と待機児童の解消を目的に新たな助成制度を創設する。

2 事業の内容

市内の待機児童の 70%以上を 3 歳未満児が占めることから、認証保育所に通所する 3 歳未満の児童の保護者に対し、助成する。

- (1) 対象者：市内に住所を有し、浜松市認証保育所に通所する 0～2 歳の児童
- (2) 助成の方法：上記児童の保護者への直接補助とする。

【参考】平成 22 年 4 月の待機児童数

歳児	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
人数	21 人	103 人	58 人	45 人	10 人	16 人	253 人

※(0～2 歳児の割合 約 72%)

3 所管課見積額

平成 23～27 年度 733 百万円

【協議要旨】
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実効性のあるものとするため、周知期間などの利用促進策について、協議を進める。 ◆ 他補助金と同様、3 年を目途に見直しを行う。

優先順位	3
------	---

放課後児童会の待機児童解消について

こども家庭部次世代育成課

1. 現状

- ・近年の経済状況の悪化から、女性の就労傾向が一層高まっており、仕事と子育ての両立支援を図る目的から、放課後児童会の待機児童解消への取組が急務となっている。
- ・施設整備等により、定員増を図るなど、待機児童の解消に取り組んでいるが、入会希望者は年々増加している。
- ・地域の実情を考慮し、教育委員会等と連携を図りながら場所の確保に努め、計画的に整備を進めているが、小学校の余裕教室などの場所の確保が難しい状況となっている。

2. 事業内容

地域の実情を考慮し、順次整備を行っていくが、待機児童数の多い箇所と施設の老朽化により児童の安全確保が損なわれるなど、緊急性の高い次の箇所を優先して整備を行う。

(1) 定員・待機児童数の推移(各年度5月1日見込)

	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26
放課後児童会定員	4,365 人	4,485 人	4,585 人	4,675 人
放課後児童会待機児童数	74 人	53 人	38 人	23 人

(2) 平成 23 年度の施設整備予定箇所

整備年度	小学校名	区	現在の開設場所 (児童会名)	定員数等(H22.5.1現在)				整備予定箇所 ・整備予定	施設整備 の理由	整備後 定員数 (人)	定員増 (人)
				現定員数 (人)	在籍者数 (人)	うち 1~3年 (人)	待機 児童 数(人)				
23	広沢小	中	広沢小余裕教室 (ひろさわ)	40	63	63	16	・広沢小敷地内 ・専用施設2階建	待機児童の解消	100	60
	船越小	中	アイミティ浜松 (ふなこし)	40	20	20	0	・八幡中敷地内 ・専用施設平屋建	暫定利用の解消	50	10
	白脇小	南	白脇公民館 (しらわき)	50	59	59	5	・白脇小敷地内 ・専用施設2階建	待機児童の解消	100	50
	計				130	142	142	21		250	120

(3) 所管課見積額

平成 23~26 年度 537 百万円

【協議要旨】
◆ 優先度の高い箇所から整備を行う。
◆ 利用料について、早急に課題整理を行う。